

量子コンピューティングが 切り拓く産業の未来像

2026.11.4 [wed]
14:00~16:40 懇談会 16:50~17:50

本イベントは会員以外の方もお申込みいただけます

開催趣旨

量子コンピューティングは、次世代の産業競争力を左右する革新技术として世界的な開発競争が進んでいます。創業、材料、エネルギー、製造、金融、物流など幅広い分野で新たな価値創出が期待されており、その可能性は業界の垣根を越えて広がっています。本講演会では、産業応用を牽引する3つの機関から講師をお招きし、それぞれの視点から最新の研究開発の動向、人材育成の取組、活用事例、そして今後の展望を、一般の方にも分かりやすくご紹介いただきます。量子技術が自社の事業や研究開発にどのような変革をもたらすのかを理解するとともに、新たな連携やビジネス創出の可能性を探る機会として、ぜひご参加ください。

開催方法

会場開催

会場

AP名古屋 7 階 L ルーム

(懇談会：6 階 O ルーム)

愛知県名古屋市中村区名駅 4-10-25 名駅 IMAI ビル

アクセス

<https://www.tc-forum.co.jp/ap-nagoya/access/>



お申込みはこちら



<https://forms.cloud.microsoft/r/NJrRce78xr>

参加費

無料

申込方法

申込フォームから参加登録を行ってください。
登録後に受付完了のメールが送信されます。

申込締切

2026 年 10 月 21 日 (水) ※定員 50 名、先着順

※アクセスができない場合は、下記協会事務局へ E-mail でお問い合わせください。

✉ M-nagoya-kyoukai-ml@aist.go.jp

14:00~14:50

(質疑応答含む)

量子コンピューターは産業で何に使われ始めたか —製造・材料分野の事例にみる現在地と次の一手—

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

AI・ロボット部 量子ユニット ユニット長 **工藤 祥裕 氏**



NEDOは2026年4月、量子コンピューターのユースケース事例集第二版を公開した。本講演では、製造・材料分野を中心に、すでに実運用に至った事例とこれから本格化する領域を分けて整理し、企業が活用を検討する際の着眼点を紹介する。

略歴

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) AI・ロボット部 量子ユニット ユニット長 工藤 祥裕。2004年、NEDO 入構。複数の研究開発プロジェクトのマネジメントに従事したのち、2024 年 7 月の量子ユニット発足時より現職。量子コンピューターの研究開発事業の推進および産業化に向けた取り組みを担当している。

14:50~15:40

(質疑応答含む)

量子時代に向けた人と組織の準備 —量子人材育成と産学官連携の現在地—

大阪大学 量子情報・量子生命研究センター 特任准教授 **平和也 氏**



量子技術の社会実装には、技術開発に加え、人材と組織の準備が欠かせない。本講演では、大阪大学量子ソフトウェア研究拠点の活動、人材育成プログラムの成果、国内企業の量子準備状況を紹介し、産学官連携の現状と今後の課題を共有する。

略歴

平和也 (たいらかずや) 博士 (保健学)。行政および看護・公衆衛生分野での実務・教育研究を基盤に、情報学、AI、ビッグデータ解析を組み合わせた学際的研究に取り組んできた。2025 年より大阪大学量子情報・量子生命研究センター特任准教授。異分野から量子技術分野に参画した経験を生かし、量子ソフトウェア研究拠点における人材育成プログラムの企画・運営と、量子技術導入に向けた組織の準備状況に関する研究に取り組んでいる。

15:40~15:50

休憩

15:50~16:40

(質疑応答含む)

量子コンピューティングの社会実装に向けた G-QuAT の活動について

国立研究開発法人産業技術総合研究所 (AIST)

量子・AI 融合技術ビジネス開発グローバル研究センター 審議役 **浮辺 雅宏 氏**



未だに技術が確立していない量子コンピューティングの社会実装の実現には、産官学が共同して研究開発活動に参画できる場が必要である。本公演ではその実践の場としての G-QuAT の活動について紹介する。

略歴

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 (産総研) 量子・AI 融合技術ビジネス開発グローバル研究センター (G-QuAT) 審議役。東京大学大学院 工学系研究科 博士課程修了後、通商産業省 工業技術院 電子技術総合研究所へ入所。組織再編に伴い、産業技術総合研究所所属となる。微細加工を用いた超電導デバイス作製とそれを用いた先端計測機器開発に携わる。2020 年、同研究所国際室にて、国際連携業務管理に従事。22 年に日本政策投資銀行 (DBJ) へ出向、スタートアップ出資などを担当。25 年より産総研 G-QuAT に帰任、現在に至る。

16:50~17:50

懇談会 (立食形式のフリーディスカッション)

18:00

終了

お問い合わせ

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 事務局

〒463-8560 名古屋市守山区桜坂四丁目205番地

国立研究開発法人産業技術総合研究所 中部センター産学官連携推進室内

☎ 052-736-7370

✉ M-nagoya-kyoukai-ml@aist.go.jp



名古屋工業技術協会 HP

産総研
ともに挑む。つぎを創る。